

別紙

項目	日付	市区町村	会場	採火方法など
採火	8月12日	井原市	美星天文台	口径50 c mの望遠鏡を使って太陽光から採火します。
		総社市	総社市役所	総社市の核となる「5つの火」(復興の火、文化・スポーツの火、福祉の火、多文化共生の火、未来の火)を一つにまとめ「採火」とします。それぞれの火は人工的に着火します。(採火方法は調整中)
		高梁市	高梁市立高梁小学校	火おこし器を使って火をおこし、それらの火を一つに集めて採火します。
		備前市	福祉窯	社会福祉法人ひだすきが窯焚きをしている備前焼の登り窯から、聖火フェスティバルの採火を行います。窯焚き期間(約1週間)の最終日を採火日とし、登り窯の覗き窓から点火棒により採火します。
		瀬戸内市	備前おさふね刀剣の里 備前長船鍛刀場	備前おさふね刀剣の里備前長船鍛刀場にて鍛錬の工程で採火します。
		美作市	ヘルピール自然公園	火打ち石、木の棒でこする等で小型のキャンプファイヤー(50 cm程度)に点火。20分程度してから、採火します。
		西粟倉村	いきいきふれあいセンター	西粟倉村の小学生を対象に自然と親しむ活動を繰り広げている探検クラブが小型のキャンプファイヤーを組み立て着火します。その後キャンプファイヤーの火から種火を取ります。8月12日に種火から復元し、採火します。
	8月13日	津山市	津山陸上競技場 多目的広場	市民から募った「東京2020パラリンピックに関するメッセージ」と身体障害、知的障害又は精神障害のある方及びその家族が所属する団体が作った「カップ、桜等をモチーフにした折り紙」を貼り合わせた作品を焼き火台の横に置き、その作品の思いを受けた火として採火します。
		笠岡市	笠岡陸上競技場	北木石を火打ち石に火打ちして北木島の石工の方に火をおこしてもらい、飛鳥のつばき油を使用した灯ろうに火を点火します。その火を、事前にキャンドルアートを障がい者の方等に作成していただき、そのローソクに着火させます。その着火されたローソクの火を障がい者の方や市民の方に参加いただき、ローソクに順番に火をつないでいきます。最後の火受け人からランタンに点火してもらいます。
		赤磐市	備前国分寺跡	昔ながらの方法(落ち葉や小枝等を集め、火打ち石等で火を着ける)で火をおこし採火します。
		浅口市	岡山天文博物館	小型で工作した天体望遠鏡を利用して着火します。
		早島町	早島町 梅檀の家	障害者施設である早島町「梅檀の家」にて、懐中電灯の反射板を利用して太陽光から火をおこし、その火を薪に移してから採火します。
		新庄村	新庄村役場	山開きの際に行う、護摩法要の火から種火を取ります。8月13日に種火から復元し採火します。
		勝央町	勝央町役場本庁舎前	小型キャンプファイヤーを組み立て採火を行います。
	8月14日	美咲町	二上山 蓮華院 両山寺	鎌倉時代に始まり、今年で746回目を迎える二上山護国法要の祭式に使用される神聖なたいまつを採火します。
	8月15日	新見市	ほほえみ広場にいみ	まいぎり式火おこし器により採火します。
		真庭市	落合総合公園 屋外ゲートボール場	バイオマスに関連した火をあらかじめ採火場所を持ってきておく。当日、市のマスコットキャラクター「まにぞう」が登場し、選出された児童とともに用意しておいた小型の火をつけられるものに着火し、児童5人により採火します。
		鏡野町	鏡野町中央公民館	太陽光もしくは、火起こし機により火を起こし種火を採火します。同式典時にランタン等へ種火を移します。
	8月16日	岡山市	吉備津神社御竈殿	鳴釜神事を斎行する吉備津神社の御竈殿の竈の下火より採火します。
		倉敷市	倉敷市真備支所	太陽光を利用し、凹面鏡を使用して採火します。 日光量が少ない場合は、金属製の火打ち石(メタルマッチ)を使用して採火します。
		玉野市	渋川海岸	渋川海岸砂浜において、ソーラークッカー、ソーラーライター等により、太陽光を利用し数分程度で採火します。
		和気町	益原多目的公園	町内の福祉事業所等で火おこしを行い、その火を共生の火として一つにまとめ、そこから採火します。
		里庄町	四つ葉の家	太陽光により火をおこす装置を使用します。
		矢掛町	矢掛町役場	町内の障害者団体、障害福祉サービス事業所等それぞれが持ち寄った火を一つにします。一つにした火から採火を行います。
		久米南町	久米南町民運動公園(体育館)	事前に障害者福祉関係者で、複数の方法での火おこしを行い、種火として保管します。8月16日に種火から復元し、キャンドル等で作った作品の前で採火します。
	(調整中)	奈義町	奈義町総合運動公園	まいぎり、火打ち石、太陽光など現代の道具に頼らない方法によって採火します。
	県内集火 出立	8月16日	岡山市	岡山県総合グラウンド陸上競技場
聖火ビジット	一部の市町では、県内集火前の聖火を市庁舎等に掲示します。			
見どころ	岡山県の聖火フェスティバルは、県内全27市町村の参加のもとで行います。令和3年8月12日(木)から8月16日(月)までの5日間、27市町村においてパラリンピック聖火を採火し、岡山県総合グラウンド陸上競技場において、各市町村の火を1つに集火して「岡山県の火」とし、東京へ向けて出立します。 本県の聖火フェスティバルでは、県内全市町村が、それぞれ地域の特色等を生かした採火を行い、その火を一つに集めることから、東京2020パラリンピック競技大会の開催に向けて一体感が醸成されるとともに、東京2020パラリンピック聖火リレーのコンセプトである「Share Your Light-あなたは、きっと、誰かの光だ。」を体現し、多様な光(人)が集まり出会うイベントとなることを期待します。			

※現時点で「(調整中)」と記載のある項目を更新した場合は、県ホームページにおいて適宜反映します。

※今後、変更の可能性があります。